

金ケ崎町公共施設等総合管理計画（案）に対する意見・提言と町の考え ～パブリックコメントの結果～

1 実施方法

町ウェブサイトへの掲載

2 募集期間

平成 28 年 9 月 7 日（水）から平成 28 年 9 月 20 日（火）まで

3 意見提出方法

持参、郵送、ファクシミリ及び電子メール

4 意見・提言と町の考え方

意見提出数 6 件（2 名）

意見・提言の内容と町の考えは次のとおりです。

項目	意見・提言の内容	町の考え
第 1 章 4 財政の現況と課題	「臨時財政対策債」や「公債費」など馴染みのない用語があり、分かりにくい。	町債（町が借り入れる借金）は長期的な町財政の説明にとって大事な項目です。住民の皆様に分かりやすい計画となるよう、次のとおり用語の説明を加えました。 (用語の説明) 町債 ……町が借り入れる借金 臨時財政対策債 ……地方の財源不足に対処するため、国が認め町が借り入れる借金 公債費 ……町が借り入れた借金の返済費用
	財源不足が生じるのはなぜですか。	(4) 長期的な財政推計の項目において、主な歳入歳出の見通しから長期的な財源不足を結論付けています。分かりやすいまとめとして、次のとおり説明を加えました。 (説 明) 人口の将来推計に裏付けられる人口減少及び少子高齢化の中、現在保有する公共施設等を維持管理していくためには、歳入の面からは人口減少に伴う普通交付税の減、歳出の面からは少子高齢化に伴う医療福祉分野にかかる費用の増と公共施設等の更新費用の増が見込まれるため、歳入歳出両面から財源不足が生じる見込みです。
	19 ページに 2 回、3.9 億円という金額が記載されています。内容が違うようなので混乱します。	19 ページに記載の金額 3.9 億円は内容の異なるものです。誤解、混乱を招く表現でしたので、次のとおり説明を修正しました。 (説 明) 施設整備費用の 10 年間の平均は 3.9 億円となりますが、そのうち新規整備にかかる費用が 1.2 億円、更新・修繕にかかる費用が 2.7 億円となっています。この更新・修繕にかかる費用 2.7 億円は、14 ページに示す今後 30 年間の更新費用の試算期間における平均費用 3.9 億円の約 7 割程度の支出となっています。
第 2 章 4 公共施設等の管理に関する基本的な考え方	「施設の重要度」はどのように判断するのか。	施設の行政目的、町民への影響度が判断材料として考えられます。今後の検討を通して明確化していく予定です。住民参加のもと検討を進めることも有効と考えています。
	「今後維持していくことが難しい施設」はどのように判断するのか。	施設改修に係る財源確保などの財政面や施設運営にかかる人的体制面が判断材料として考えられます。今後の検討を通して明確化していく予定です。住民参加のもと検討を進めることも有効と考えています。
	住民提案や民間提案を取り入れていってはどうか。	公共施設等の固定資産台帳を整備後、客観的なデータなどの判断材料と考えられる選択肢を整理した上で、住民提案や民間提案を取り入れることを予定しています。 今後策定予定の個別施設計画は、具体的な施設の再配置を定める内容を含むことから、住民提案ではなく住民とともに考え策定することを想定しています。また、今後維持継続すべき行政サービスのために、必ずしも町が公共施設を所有する必要がない場合には、民間施設の活用を含めた民間提案も有効と考えています。

